

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2025年 6月23日

滋賀県知事 様

提出者

住所 滋賀県米原市藤川650

氏名 大阪シーリング印刷株式会社

代表取締役 松口 正

電話番号 0749-58-1001

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2024年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大阪シーリング印刷株式会社 滋賀工場第二事業所
事業場の所在地	滋賀県米原市大清水613-3
事業の種類	15:印刷業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2024年 4月 1日~2025年 3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

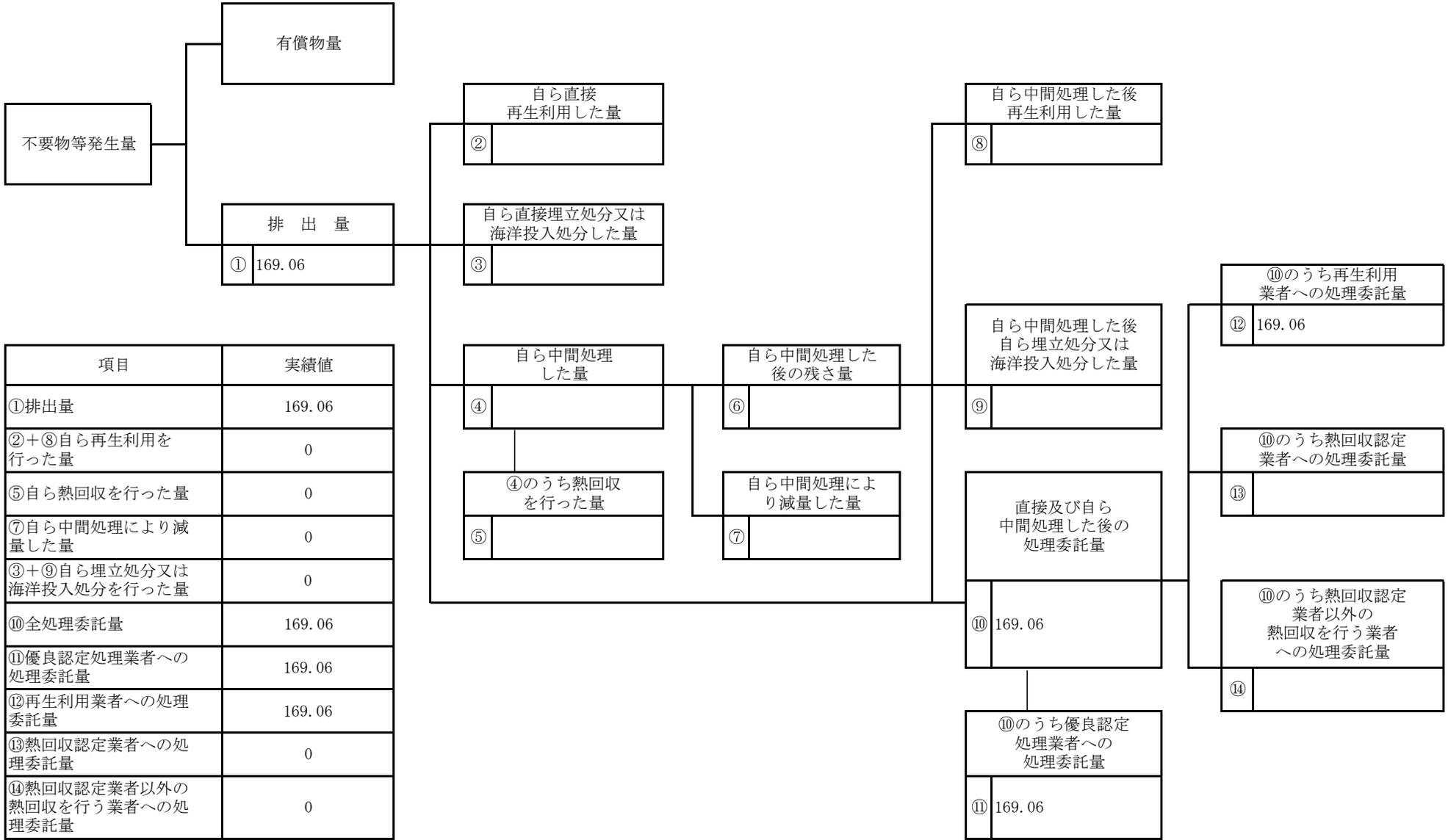
項目	目標値	項目	目標値
排出量	3,000 t	全処理委託量	1,540 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	1,540 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	1,800 t	再生利用業者への処理委託量	1,435 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1,500 t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄

(日本工業規格 A列4番)

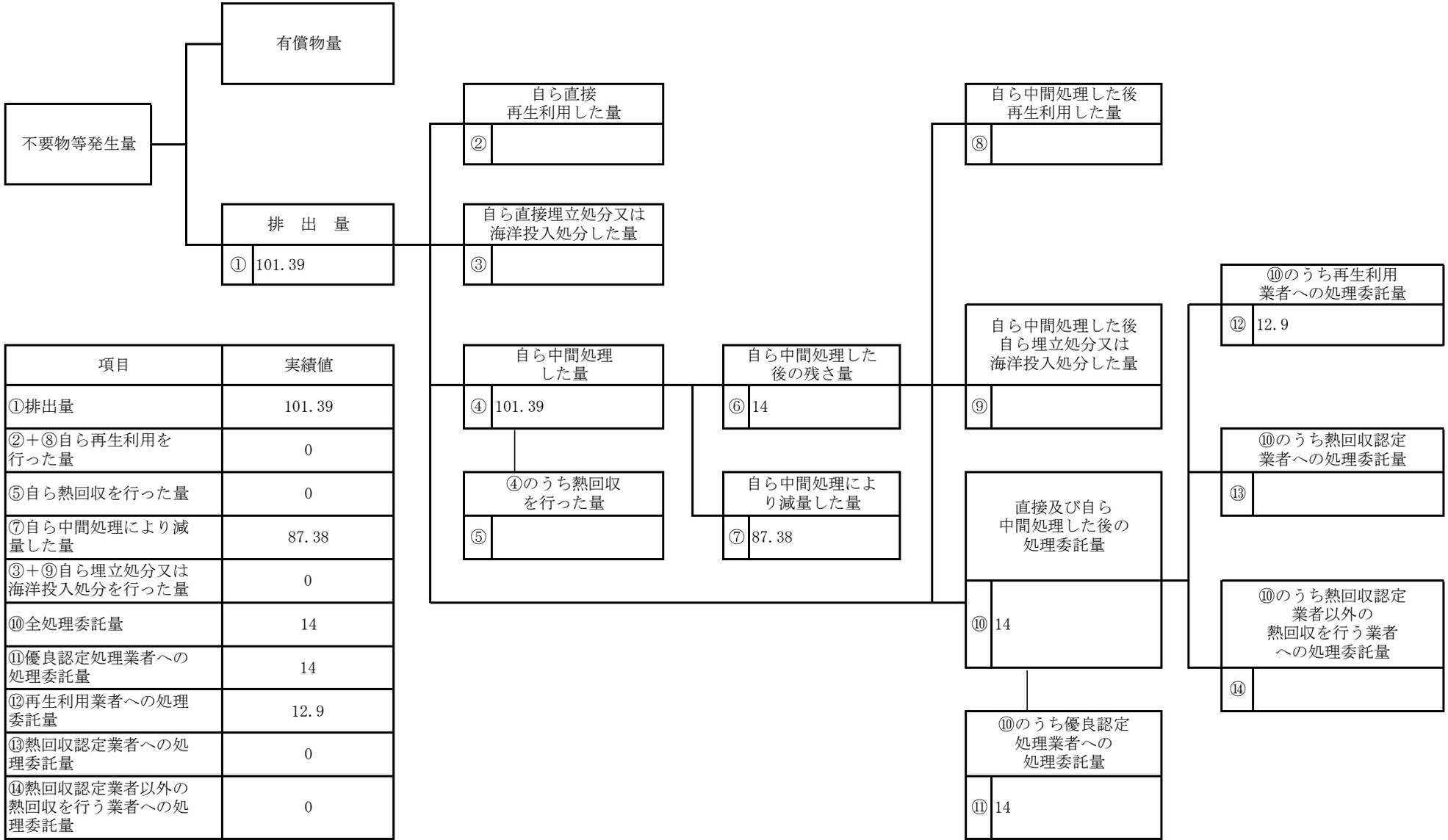
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類 処理委託 )



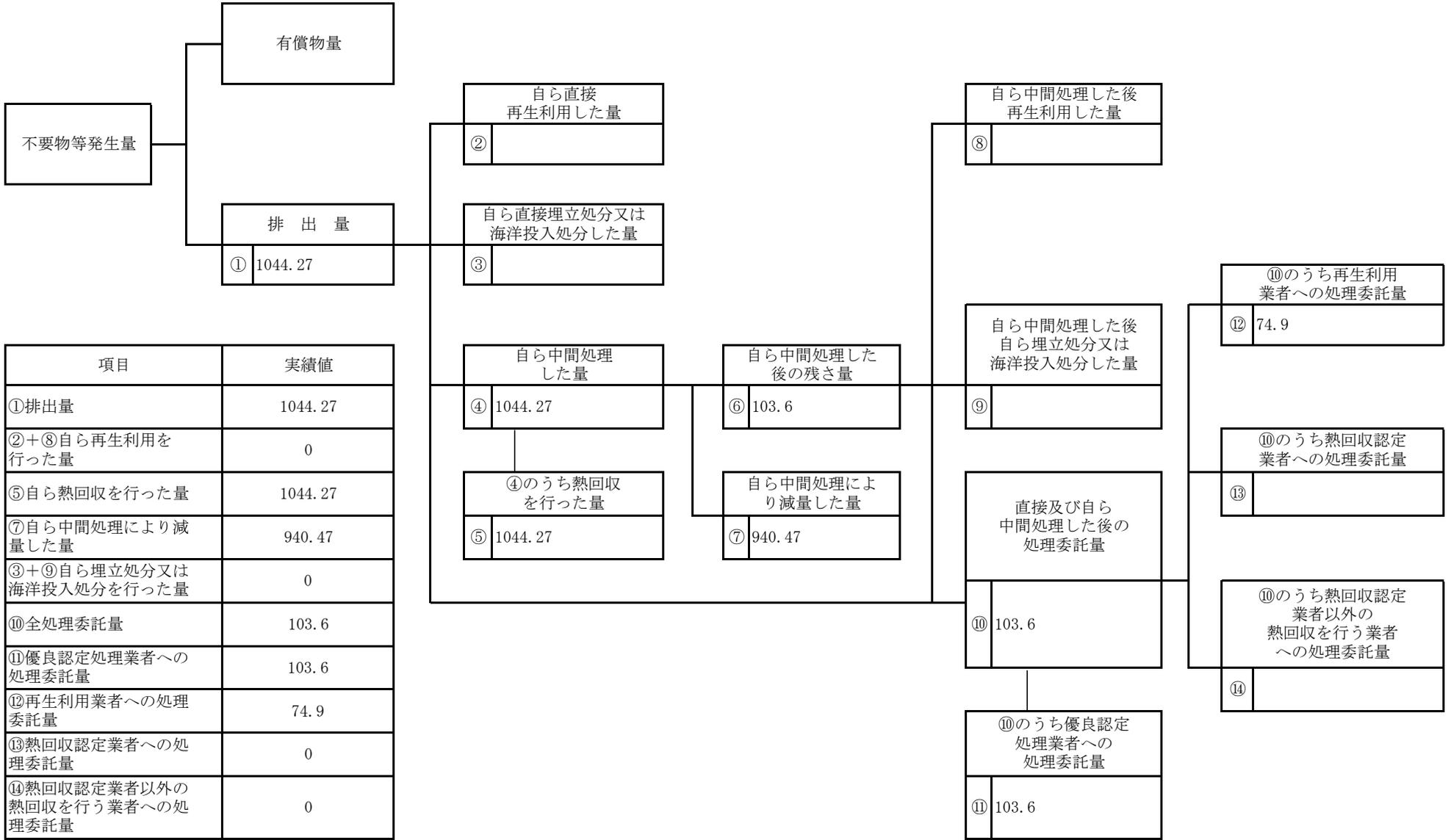
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラ 焼却炉 )



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラ 破砕機・バイオマス )



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書の〔別紙〕

提出者						
住所	名称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
滋賀県栗東市栗川880	大塚シーリング印刷株式会社	東経部エネルギー環境管理課	藤田 真仁	0749-59-1001		mfst@bell.co.jp

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況											②+⑧		③+⑨		
コード	名 称	①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理した量 (t)	⑤ ④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量 (t)	⑨自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は海 洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量 (t)	⑩※ (①-②-③-④+⑤-⑧-⑨ = ⑩+⑪+⑫+⑬+⑭)				⑪	⑫
										委託先による区分		⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
										⑬再生利用者への 処理委託量(t)		⑭熱回収認定業者 への処理委託量(t)	⑮熱回収認定業者以外の 熱回収業者への処理委託量(t)	⑯その他の中間処理 委託量(t)	⑰埋立処分委託量(t)	⑱職員認定処理業者への 処理委託量(t)	⑳
										⑲の量のうち、処理業者へ の再生利用委託量(⑲、⑳ 除く)		㉑の量のうち、認定熱 回収施設設置者である処理 業者への焼却処理委託 量	㉒の量のうち、委託して 焼却等の中間処理した量(㉒ ～㉓を除く)	㉓の量のうち、直接 委託して埋立て最終 処分した量	㉔の量のうち、職員認定 処理業者への委託処理 量	㉕の量と㉖の量を合計 したものを(自動計算)	㉖の量と㉗の量を合計 したものを(自動計算)
1	600 廃プラスチック類 異種委託	169.06								169.06	169.06					169.06	
2	600 廃プラスチック類 焼却炉	101.39			101.39		14.00	87.38		14.00	12.90				1.10	14.00	
3	600 廃プラスチック類 焼却・バイオマス	1044.27			1044.27	1044.27	103.60	940.47		103.60	74.90				28.80	103.60	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
	合計	1314.71	1314.71	0.00	1145.65	1044.27	117.60	1027.85	0.00	0.00	286.66	256.86	0.00	0.00	29.90	286.66	

(注1)トン未満は原則として四捨五入、ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。  
 (注2)上記の産業廃棄物の種類以外の排出実績があった場合は、必要に応じ、直接追加入力するとともに、第2面も追加してください。